

市野々原復興記念植樹祭・被災地展望広 場除幕式・祭時大橋見学通路開通式

がんばろう！東北



被災時

岩手・宮城内陸地震から3年が経ち、復旧事業が完了した市野々原地すべりの現地で地元小学生および関係者とともに木を植えます。

2011年は国際森林年でもあります。災害復旧地への植樹を通して、森林機能の大切さを再確認しましょう。

未来を担う子供達とともに森林を再生させ、災害に強い県土を作っていきましょう。

開催日時：平成23年 6月14日 (火)

植樹会場：一関市巖美町字板川地内

復旧

植樹場所

式典会場
被災地展望広場

環境に配慮したリサイクル緑化工



市野々原では、地すべりによる地盤の崩壊で大量の倒木が発生しました。(現地発生材)

- ◎ この現地発生材をチップ化し、有効微生物群を用いて植生基材に活用することにより、自然サイクルに近い植生回復を図りました。苗木植栽箇所には植生基材を厚く(15cm)吹きました。
- ◎ 植栽樹種に周辺出現樹種を中心に広葉樹9種(ブナ、ミズナラ、ヤマザクラ、イタヤカエデ、ヤマモミジ、ヤマボウシ、コブシ、タニウツギ、ヤマハンノキ)を選定することで周辺環境との調和を図りました。

岩手南部森林管理署



〒023-0853 奥州市水沢区東上野町12-17

TEL.0197-24-2131

担当：流域管理調整官 畠山、治山課 本城谷